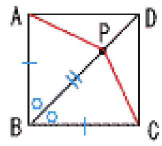
２年数学 ４平行と合同	（１３） 証明のしくみ ３	学習日　　月　　日（　　）

証明のステップ

(1) **結論**を含む合同な三角形を見つける
(2) **仮定**から合同条件をそろえる
(3) 証明の**形式**通りに記述

正方形ABCDの対角線上にPがあるとき，AP＝CPを証明しなさい。

(ステップ１) 合同は,△PABと△PCB
(ステップ２) 条件は,2辺とその間の角
(ステップ３) 証明の形式にそって記述

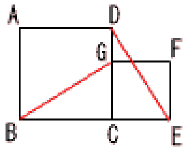


印刷して、紙の上でやってネ！

空欄をうめて,次のことがらを証明しなさい。

1

2つの正方形ABCDとCEFGがあるとき,BG＝DEである。



[証明]

△BCGと　　　　において,

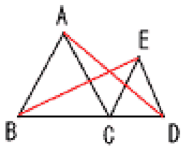
BC＝　　　　　(正方形の１辺)
CG＝　　　　　(　　　　　)
∠BCG＝　　　　　＝90°(内角)

合同条件(　　　　　　　　　　)
がそれぞれ等しいから,

△BCG≡　　　　で,BG＝

2

2つの正三角形ABCとCDEがあるとき,BE＝ADである。



[証明]

△BCEと　　　　において,

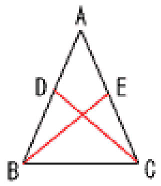
BC＝　　　　　(正三角形の１辺)
CE＝　　　　　(　　　　　)
∠BCE＝　　　　　＝120°(内角)

合同条件(　　　　　　　　　　)
がそれぞれ等しいから,

△BCE≡　　　　で,BE＝

3

二等辺三角形の等辺に,AD＝AEとなる2点をとると,BE＝CDである。



[証明]

△ABEと　　　　において,

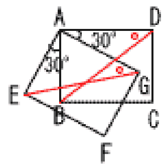
AB＝　　　　　(等　辺)
AE＝　　　　　(仮　定)
∠BAE＝　　　　　(　　　　　)

合同条件(　　　　　　　　　　)
がそれぞれ等しいから,

△ABE≡　　　　で,BE＝

4

長方形ABCDを30°回転して,長方形AEFGとすると,∠AGE＝∠ADBである。



[証明]

△AEGと　　　　において,

AE＝　　　　　(短　辺)
AG＝　　　　　(長　辺)
∠EAG＝　　　　　＝90°(内角)

合同条件(　　　　　　　　　　)
がそれぞれ等しいから,

△BAEG≡　　　　で,∠AGE＝

[トップに戻る]　[前ページに戻る]　　[答のページに進む]